

報告第13号

株式会社能生町観光物産センターの経営状況について

株式会社能生町観光物産センターの第31期営業報告及び監査報告並びに第32期事業計画及び収支計画について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により次のとおり報告する。

令和元年9月9日

糸魚川市長 米 田 徹

第 3 1 期

決 算 報 告 書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

株式会社 能生町観光物産センター
(法人番号:8110001021778)

事業部門第31期3月末までの営業概況

1 売店客数

本年度3月末までの売店客数は60,121人で対前年度比-17,841人(77.12%)となった。売店の改装が遅れたことにより5・6月の入込が一時的に大きく落ち込んだが昨年に大雪の影響を受けた2月は対前年度で大きく伸ばした。

単位：人

区分	第29期(H28年度)		第30期(H29年度)		第31期(H30年度)		
	客数	累計	客数	累計	客数	累計	月伸率
4月	5,653	5,653	5,692	5,692	4,412	4,412	77.51%
5月	9,766	15,419	9,995	15,687	6,419	10,831	64.22%
6月	4,904	20,323	5,044	20,731	3,353	14,184	66.48%
7月	10,557	30,880	9,342	30,073	7,234	21,418	77.44%
8月	18,745	49,625	17,787	47,860	13,790	35,208	77.53%
9月	5,778	55,403	5,774	53,634	4,483	39,691	77.64%
10月	7,253	62,656	6,834	60,468	4,844	44,535	70.88%
11月	5,743	68,399	6,108	66,576	4,776	49,311	78.19%
12月	4,233	72,632	4,236	70,812	3,275	52,586	77.31%
1月	3,156	75,788	2,411	73,223	2,240	54,826	92.91%
2月	3,142	78,930	1,425	74,648	1,940	56,766	136.14%
3月	5,085	84,015	3,314	77,962	3,355	60,121	101.24%
合計	84,015		77,962		60,121		77.12%

2 売店売上

セブン-イレブンの開設に伴い、直営売店の販売面積が半減したことが影響し、本年3月末までの直営売店売上は98,589千円で対前年度比-31,525千円(75.75%)となった。自動販売機(飲料など)の委託化及びタバコ売り上げなどのその他売上を除く売店売上は対前年度比81.83%であったが、その他売上がセブンイレブン売上へ移行した結果、全体では客数よりも落とす結果となった。

単位：千円

区分	第29期(H28年度)			第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			
	売店	その他	売上計	売店	その他	売上計	売店	その他	売上計	月伸率
4月	7,772	900	8,672	7,853	779	8,632	6,440	14	6,454	74.77%
5月	14,287	1,228	15,515	15,536	1,230	16,766	10,356	28	10,384	61.93%
6月	6,383	913	7,296	6,896	688	7,584	4,953	10	4,963	65.44%
7月	15,790	1,557	17,347	14,093	1,313	15,406	11,642	56	11,698	75.93%
8月	35,546	2,712	38,258	32,296	2,398	34,694	26,834	138	26,972	77.74%
9月	8,108	884	8,992	7,988	853	8,841	6,692	16	6,708	75.87%
10月	10,437	1,045	11,482	9,914	845	10,759	7,325	22	7,347	68.29%
11月	8,245	756	9,001	8,809	717	9,526	7,481	15	7,496	78.69%
12月	6,201	676	6,877	6,179	651	6,830	5,205	6	5,211	76.30%
1月	4,554	474	5,028	3,523	453	3,976	3,630	9	3,639	91.52%
2月	3,437	393	3,830	1,904	284	2,188	2,603	9	2,612	119.38%
3月	6,547	927	7,474	4,778	164	4,942	4,840	265	5,105	103.30%
合計	127,307	12,465	139,772	119,769	10,375	130,144	98,001	588	98,589	75.75%

3 セブンイレブン客数

本年度3月末までのセブンイレブン客数は160,758人となった。営業時間が直営売店より長く、観光目的の来場者だけでなく、地域住民来場者の利用もありレジ通過人数は直営売店の2.7倍となっている。

単位：人

区分	第29期(H28年度)		第30期(H29年度)		第31期(H30年度)		
	客数	累計	客数	累計	客数	累計	月伸率
4月		0		0	12,337	12,337	
5月		0		0	15,020	27,357	
6月		0		0	11,688	39,045	
7月		0		0	18,776	57,821	
8月		0		0	24,128	81,949	
9月		0		0	13,633	95,582	
10月		0		0	13,930	109,512	
11月		0		0	13,013	122,525	
12月		0		0	10,766	133,291	
1月		0		0	8,140	141,431	
2月		0	2,995	2,995	7,674	149,105	256.23%
3月		0	11,067	14,062	11,653	160,758	105.30%
合計	0		14,062		160,758		1143.21%

4 セブンイレブン売上

本年3月末までのセブンイレブン売上は83,603千円となった。客単価が510円と当初の想定より低く入込客数に比べて大きく伸ばすことが出来ていない。3月単月では前年度対比で107.4%となっており認知が進み売上が向上したのと考えられる。

単位：千円

区分	第29期(H28年度)			第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			
	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	月伸率
4月			0			0	6,073	61	6,134	
5月			0			0	7,496	74	7,570	
6月			0			0	5,984	63	6,047	
7月			0			0	9,405	72	9,477	
8月			0			0	12,836	92	12,928	
9月			0			0	7,024	73	7,097	
10月			0			0	6,982	67	7,049	
11月			0			0	6,765	74	6,839	
12月			0			0	5,917	83	6,000	
1月			0			0	4,347	81	4,428	
2月			0	1,791	27	1,818	3,987	71	4,058	223.21%
3月			0	5,497	67	5,564	5,881	95	5,976	107.40%
合計	0	0	0	7,288	94	7,382	82,697	906	83,603	1132.53%

5 事業部全体客数

本年度3月末までの事業部全体の入り込み客数は220,879人となった。セブンイレブンのレジ通過人数が加わる事により各月29年度より3倍近い大幅増となったが、超繁忙期となる5月連休、8月のお盆期間のセブンイレブンの入込が伸び悩み2.1倍であったため、年間では2.4倍となった。

単位：人

区分	第29期(H28年度)		第30期(H29年度)		第31期(H30年度)		
	客数	累計	客数	累計	客数	累計	月伸率
4月	5,653	5,653	5,692	5,692	16,749	16,749	294.26%
5月	9,766	15,419	9,995	15,687	21,439	38,188	214.50%
6月	4,904	20,323	5,044	20,731	15,041	53,229	298.20%
7月	10,557	30,880	9,342	30,073	26,010	79,239	278.42%
8月	18,745	49,625	17,787	47,860	37,918	117,157	213.18%
9月	5,778	55,403	5,774	53,634	18,116	135,273	313.75%
10月	7,253	62,656	6,834	60,468	18,774	154,047	274.71%
11月	5,743	68,399	6,108	66,576	17,789	171,836	291.24%
12月	4,233	72,632	4,236	70,812	14,041	185,877	331.47%
1月	3,156	75,788	2,411	73,223	10,380	196,257	430.53%
2月	3,142	78,930	4,420	77,643	9,614	205,871	217.51%
3月	5,085	84,015	14,381	92,024	15,008	220,879	104.36%
合計	84,015		92,024		220,879		240.02%

6 事業部全体売上

本年3月末までの事業部全体での売上は182,192千円で対前年度比+44,666千円(132.48%)となった。入込数同様に超繁忙期である5月・8月のセブンイレブン売上が伸び悩んだ。

単位：千円

区分	第29期(H28年度)			第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			月伸率
	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	
4月	7,772	900	8,672	7,853	779	8,632	12,513	75	12,588	145.83%
5月	14,287	1,228	15,515	15,536	1,230	16,766	17,852	102	17,954	107.09%
6月	6,383	913	7,296	6,896	688	7,584	10,937	73	11,010	145.17%
7月	15,790	1,557	17,347	14,093	1,313	15,406	21,047	128	21,175	137.45%
8月	35,546	2,712	38,258	32,296	2,398	34,694	39,670	230	39,900	115.01%
9月	8,108	884	8,992	7,988	853	8,841	13,716	89	13,805	156.15%
10月	10,437	1,045	11,482	9,914	845	10,759	14,307	89	14,396	133.80%
11月	8,245	756	9,001	8,809	717	9,526	14,246	89	14,335	150.48%
12月	6,201	676	6,877	6,179	651	6,830	11,122	89	11,211	164.14%
1月	4,554	474	5,028	3,523	453	3,976	7,977	90	8,067	202.89%
2月	3,437	393	3,830	3,695	311	4,006	6,590	80	6,670	166.50%
3月	6,547	927	7,474	10,275	231	10,506	10,721	360	11,081	105.47%
合計	127,307	12,465	139,772	127,057	10,469	137,526	180,698	1,494	182,192	132.48%

7 海の資料館「越山丸」利用状況

海の資料館「越山丸」等の3月末までの利用者数は大人が5,358人、子供が1,531人、計6,889人で入館料収入は1,129千円となった。昨年度6月の改修工事以降は順調に推移していたが、7・8月の来場者の大幅減、週末の天候の影響を受けた10月3日が大きく落とし対前年度101.61%となった

単位：人

月	第29期(H28年度)			第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			月伸率
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	
4月	518	144	662	375	132	507	773	233	1,006	198.42%
5月	1,023	334	1,357	870	345	1,215	979	263	1,242	102.22%
6月	563	88	651			0	457	92	549	
7月	546	196	742	580	410	990	477	126	603	60.91%
8月	729	229	958	1,430	529	1,959	1,077	376	1,453	74.17%
9月	403	67	470	299	59	358	501	148	649	181.28%
10月	524	83	607	566	125	691	380	94	474	68.60%
11月	262	71	333	386	82	468	540	126	666	142.31%
3月	402	126	528	454	138	592	174	73	247	41.72%
合計	4,970	1,338	6,308	4,960	1,820	6,780	5,358	1,531	6,889	101.61%

宿泊部門第31期末までの営業概況

1 宿泊部門

・本年30周年四季プランの販売でスタートを切ったが金額面・広告面で宿泊者への浸透まで時間を要したため当初は厳しい数字となった。

・7月以降は年初からのDM・メディア露出の効果及びWEB研修実施によるNET経由の予約販売が成果を上げ、新プラン等の予約に繋がったことから7月以降の売上はある程度の実績を残すことができた。

区分	第30期(H29年度)		第31期(H30年度)			
	客数(人)	売上(千円)	客数(人)	月伸率	売上(千円)	月伸率
4月	799	9,786	585	73.22%	7,465	76.28%
5月	683	8,946	594	86.97%	7,795	87.13%
6月	411	5,572	362	88.08%	4,570	82.02%
7月	594	7,373	864	145.45%	11,427	154.98%
8月	1,187	15,288	1,304	109.86%	17,931	117.29%
9月	451	5,936	491	108.87%	6,493	109.38%
10月	724	9,434	833	115.06%	10,653	112.92%
11月	707	9,652	806	114.00%	11,201	116.05%
12月	451	6,246	514	113.97%	7,374	118.06%
1月	739	9,931	642	86.87%	9,419	94.84%
2月	489	6,779	474	96.93%	6,481	95.60%
3月	453	6,190	517	114.13%	7,094	114.60%
合計	7,688	101,133	7,986	103.88%	107,903	106.69%

2 日帰部門

・日帰り会食・宴会は営業訪問・DM効果もあり、人数・売上は対前年を上回ったが、地元を中心とした団体の安定した確保には至らなかった。

・日帰り入浴者数は年初は伸び悩んだが30周年企画のイベント・入湯券割引きなどで対前年並まで回復した。

区分	第30期(H29年度)		第31期(H30年度)			
	客数(人)	売上(千円)	客数(人)	月伸率	売上(千円)	月伸率
4月	4,194	2,587	3,970	94.66%	2,753	106.42%
5月	5,711	3,544	3,762	65.87%	3,336	94.13%
6月	3,201	3,554	4,484	140.08%	3,970	111.71%
7月	3,437	3,539	2,840	82.63%	3,157	89.21%
8月	5,600	4,182	4,476	79.93%	4,592	109.80%
9月	3,487	3,202	5,146	147.58%	5,214	162.84%
10月	3,709	3,947	3,051	82.26%	4,098	103.83%
11月	3,348	4,200	3,148	94.03%	4,803	114.36%
12月	3,628	3,428	5,897	162.54%	4,134	120.60%
1月	5,529	4,930	4,764	86.16%	5,280	107.10%
2月	4,380	3,508	3,722	84.98%	2,931	83.55%
3月	5,739	5,636	6,345	110.56%	4,704	83.46%
合計	51,963	46,257	51,605	99.31%	48,972	105.87%

3 売店・その他の部門

・売店売上は会食・宴会利用増と比例して順調に推移した、加えて地場産の取扱品(山菜、むすびいと商材、はちみつ産品等)やその量を増やしたことにより県外宿泊者や日帰り利用者のニーズに応える品揃えが出来たこと、研修実施による声かけや接客対応等の販売意識向上が売上増の要因と思われる。

区分	第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			
	売店(千円)	その他(千円)	計(千円)	売店(千円)	その他(千円)	売上(千円)	月伸率
4月	990	105	1,095	1,240	114	1,354	123.65%
5月	1,308	138	1,446	1,604	147	1,751	121.09%
6月	1,152	142	1,294	1,146	136	1,282	99.07%
7月	936	112	1,048	1,515	195	1,710	163.17%
8月	1,350	136	1,486	2,160	191	2,351	158.21%
9月	911	118	1,029	1,507	210	1,717	166.86%
10月	1,676	194	1,870	1,690	211	1,901	101.66%
11月	2,310	202	2,512	1,948	277	2,225	88.57%
12月	1,129	122	1,251	1,338	177	1,515	121.10%
1月	1,348	204	1,552	1,518	174	1,692	109.02%
2月	1,034	148	1,182	1,278	143	1,421	120.22%
3月	1,245	124	1,369	1,471	152	1,623	118.55%
合計	15,389	1,745	17,134	18,415	2,127	20,542	119.89%

貸借対照表

商号 株式会社 能生町観光物産センター

代表者 池亀 郁雄

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流動資産	(85,406,301)	I 流動負債	(42,504,351)
現金及び預金	60,495,887	買掛金	5,989,274
売掛金	610,610	1年以内返済長期借入金	7,524,000
たな卸資産	17,760,417	未払金	23,763,255
未収入金	5,352,521	未払法人税等	180,000
未収還付法人税等	1,759	未払消費税等	3,351,000
立替金	41,178	仮受金	1,640,422
仮払金	36,600		56,400
オープンアカウント	1,107,329		
		II 固定負債	(86,774,221)
II 固定資産	(209,907,168)	預り敷金	10,196,000
有形固定資産	(208,426,529)	長期建設借入金	38,007,000
建物	455,215,023	長期未払金	32,400,000
構築物	32,192,832	繰延税金負債	5,458,824
工具、器具及び備品	14,873,404		712,397
リース資産	6,523,700		
その他の有形固定資産	2,912,622		
減価償却累計額	△ 303,291,052		
		負債の部合計	129,278,572
無形固定資産	(218,400)	(純資産の部)	
電話加入権	218,400	I 株主資本	(167,234,897)
		1. 資本金	43,000,000
投資その他の資産	(1,262,239)	2. 資本剰余金	(0)
出資	116,000		
保険積立金	96,239	3. 利益剰余金	(124,234,897)
敷金・保証金	1,050,000	(1) 利益準備金	4,042,000
		(2) その他利益剰余金	(120,192,897)
		別途積立金	143,000,000
		建物圧縮積立金	2,387,879
		繰越利益剰余金	△ 25,194,982
		II 評価・換算差額等	(0)
III 繰延資産	(1,200,000)		
開発費	1,200,000	III 新株予約権	(0)
資産の部合計	296,513,469	純資産の部合計	167,234,897
		負債・純資産の部合計	296,513,469

損益計算書

商号 株式会社 能生町観光物産センター

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売上高 商 品 上 高 賃 貸 売 入 権 現 料 収 入 入 場 料 ・ 手 数 料 等 収 入 施 設 管 理 受 託 料 案 内 業 務 受 託 料	183,704,903 31,644,337 175,392,816 8,013,966 7,913,735 1,388,889	408,058,646	408,058,646
II 売上原価 期 首 た な 卸 高 商 品 仕 入 高 食 材 等 仕 入 高 不 良 品 原 価 仕 入 値 引 戻 し 合 期 末 た な 卸 高 売 上 総 利	141,060,296 44,398,108 -5,728,458 △ 855,332	13,377,790 178,874,614 192,252,404 15,386,647	176,865,757 231,192,889
III 販売費及び一般管理費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 営 業 損 失		261,488,961	261,488,961 30,296,072
IV 営業外収益 受 取 外 利 益 受 取 配 当 金 雑 収 入		7,566 3,000 2,920,814	2,931,380
V 営業外費用 支 払 利 息 割 引 用 料 線 延 資 産 償 却 失 雑 損		614,219 300,000 390,363	1,304,582
経 常 損 失			28,669,274
VI 特別利益		0	0
VII 特別損失 固 定 資 産 除 却 損		550,594	550,594
税引前当期純損失 法人税、住民税及び事業税 当期純損失		180,000	29,219,868 180,000 29,399,868

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成 30 年 4 月 1 日 から
平成 31 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
販売員給与・賞与	83,071,975
案内業務人件費	1,309,717
旅費	558,884
広告宣伝費	10,055,200
容器包装費	519,812
発送配達費	123,918
支払手数料	12,314,706
その他の販売費	904,684
販売促進費	10,726,576
役員報酬	1,500,000
管理者給与・賞与	12,644,992
厚生費	16,288,215
その他の人件費	340,126
減価償却費	18,049,624
地家賃・リース料	4,035,775
修繕費	2,521,921
事務用消耗品費	1,164,669
通信交通費	1,870,569
水道光熱費	37,387,015
租税公課	2,829,650
接待交際金	10,000
待交際費	433,703
保険料	1,511,975
備品消耗品費	6,781,240
管理諸費	23,851,340
イベント費	126,022
衛生費	3,069,730
不良品・たな卸増減	4,881,225
雑費	2,605,698
合 計	261,488,961

たな卸資産の計算内訳

平成 31 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

科 目	金 額
商 品	6,877,436
原 材 料	8,509,211
貯 蔵 品	2,373,770
合 計	17,760,417

株主資本等変動計算書

商号 株式会社 能生町観光物産センター

平成30年 4月 1日から 平成31年 3月31日まで

P- 1

(単位:円)

	株主資本						株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式				
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他 利益剰余金					
当期首残高	43,000,000	0	0	4,042,000	149,592,765	0	196,634,765	0	0	196,634,765
当期変動額										
当期純損失					-29,399,868		-29,399,868			-29,399,868
当期変動額合計	0	0	0	0	-29,399,868	0	-29,399,868	0	0	-29,399,868
当期末残高	43,000,000	0	0	4,042,000	120,192,897	0	167,234,897	0	0	167,234,897

■その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書

(単位:円)

	その他資本剰余金の内訳			その他利益剰余金の内訳						
	資本準備金減少 額	自己株式処分差 益	その他 資本剰余金 合計	別途積立金	建物圧縮積立金	特別償却準備金			繰越 利益剰余金	その他 利益剰余金 合計
当期首残高	0	0	0	143,000,000	2,387,879	0			4,204,886	149,592,765
当期変動額										
当期純損失									-29,399,868	-29,399,868
当期変動額合計	0	0	0	0	0	0			-29,399,868	-29,399,868
当期末残高	0	0	0	143,000,000	2,387,879	0			-25,194,982	120,192,897


監 査 報 告 書

平成30年4月1日より平成31年3月31日までの第31期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告書に関する書類及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。


令和元年5月20日

株式会社能生町観光物産センター

監査役

倉又孝好 

監査役

齋藤武司 

第32期 営業計画

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

株式会社 能生町観光物産センター

第 32 期 営業計画

I 経営理念

『共存共栄』

～お客様と、地域と、行政と、三位一体となって、共に在り、共に栄えていく～

II 年間テーマ

観光の情報発信基地として、よりきめの細かな快適なサービスの提供に努めるとともに、お客様のニーズにあった販売活動を推進する。地域における産官学の連携の中で、自らの力でお客様を創り、自らの力で売上を創り、自らの力で利益を創る。

積極的な情報発信を心掛け、前期以上の売上確保を目指し、様々な提案を実行できるよう努力していく。

III 行動方針

『海・愛・人・恵・共・幸』

～私たちは心をこめてお届けします～

お客様がいてこそそのマリンドリーム能生・権現荘であるから、そのお客様から喜んでいただける施設を目指す。

糸魚川市の観光施設として能生地域の核であることを自覚し、交流人口の増大を目指しつつ地域と一体となった観光施設を目指す。

直営店では、県立海洋高校とのコラボレーションを図り、新商品の開発とその販路拡大を目指すとともに、商工会や市内業者との商品販売における連携、施設全体の良好な管理運営という面では、さらに行政とのより緊密な情報の共有化を図るなかでマリンドリーム能生・権現荘ならではの商品構成とサービス向上を目指すものとする。

IV 経営方針

◎ 経営戦略のと実行

経営戦略会議により策定された中・長期的な展望を基に新たな目標に向け取り組みを進める。

◎ 部門別経営の確立と充実

各部門毎の責任所在を明確にし、確実な売上と確実な利益を確保できる自立した部門形成を目指す。職務分担を明確にするとともに、社員間のコミュニケーションの充実を促進する。指定管理により当社が運営する施設への誘客を促進し、その波及効果を施設全体への波及効果として現れるような仕掛けづくりをテナントの皆さん及び関係者等との協調のなかで促進することを目指すものとする。

◎ 閑散期の利益確保

閑散期の経費見直し、各月利益を確保し安定した経営を目指す。観光案内業務を更に充実し、閑散期にもしっかりと市内観光情報を提供することにより、立ち寄り客の増大を図る。

市内観光施設や関係業者等との連携を強化し、魅力あるイベント等を開催するな

どして施設利用者の増を目指し、シーズン格差の解消に努める。

◎ 実行のスピード化

決定事項の業務指示から実行までのスケジュールを明確にし、顧客満足に対応するスピードアップを図る。

テナント会及び関係者等との協調を強化し、より良いイベント等の開催を図り顧客のニーズにスピード感を持って、対応できる体質づくりを図る。

◎ 施設特徴の明確化

海の幸が豊富であること、駐車施設が十分であること、各種の施設が整備されていること、温泉宿泊施設を保有していることなどの好条件を最大限活用し、それぞれの部門でその優位性を発揮するなかで他施設との差別化を図る。

観光情報の正確な提供を図り、観光情報発信基地としての特性を発揮できるような態勢を構築する。

マリンドリーム能生の重点道の駅認定、柵口温泉権現荘の温泉総選挙審査員特別賞受賞という全国レベルの良いニュースを前面に押し出した PR 活動を実行する。

◎ 目標

経営戦略会議による計画を基に、更に充実した実施スケジュール等の明確化を図り、販売実績の向上を目指すと共に重点道の駅認定によるマリンドリーム能生の整備計画を策定する。

糸魚川市及び観光協会との連携を更に強化し、市内観光施設との交流、情報交換の場の設定を糸魚川市交流観光課に求め、オール糸魚川のスケールメリットを十分に発揮できる体制づくりを行う。

V 事業戦略

- (1) 総務経理基本計画
- (2) 営業基本計画
- (3) 商品売上基本計画
- (4) 賃貸料収入、委託販売手数料、入場料収入、施設管理受託基本計画
- (5) 第 32 期 収支計画

VI 数値目標

事業部門(マリンドリーム能生)

区 分	31 期		32 期目標
	目標	実績	
集客目標	550, 000人	500, 100人	550, 000人
年間売上	210, 000千円	183, 705千円	208, 000千円
利益目標	2, 258千円	△8, 789千円	110千円

宿泊部門(柵口温泉権現荘)

区 分	31 期		32 期目標
	目標	実績	
集客目標	62,000人	59,591人	62,000人
年間売上	185,500千円	175,916千円	192,000千円
利益目標	2,613千円	△12,896千円	643千円

(1) 総務管理基本計画

関係官公庁等との連携強化

観光案内業務の充実により「道の駅」として的確な情報の提供

来場者への癒しの場の提供を考慮した経営

信頼される経営、新たな経営戦略でリピーターの増加

情報の公開と共有化

資金管理、物品仕入れ、営業交渉等の透明化と効率化の確保

幅広い社員研修の実施

総力を結集したトップシーズンの現場対応

繁忙期への体制整備

場内整理(特に駐車場整理)の徹底

アルバイトの効率的な活用

施設の整理整頓、管理の適正化

施設の保守点検

施設のリニューアル・改修の積極的推進

冬期間の風浪雪対処法の確認

災害対策等連絡系統の確認

防犯体制の確立強化

冬期間の営業実績の拡充

イベント支援の充実・協力体制の強化

事業部門

6月 シーサイドカーニバル(30周年記念事業スタート)

10月 豊漁感謝祭

1月 新春初売り

1月 あんこう祭り

3月 大漁浜汁祭り

その他イベント、催し物

冬期間(閑散期)のイベント確立(新カニかに館の活用)

宿泊部門

近隣施設等との連携によるプランへの取り組み

四季折々の各種プランの充実

地域と連携した催し物の企画・実施

マリンドリーム能生イベントとの連携と協力

(2) 営業基本計画

市内各施設、民間関連施設との連携・・・案内業務の確立と情報の一元化
マリンドリーム能生と柵口温泉権現荘の連携と協力
「がんばろう 糸魚川」運動への協力
「道の駅」連携で積極的な出張宣伝
代理店・エージェントとの連携強化
営業作戦の基本的事項として来場方面別等の調査の実施
テレビ等マスメディアの効果的な活用を図る
ホームページ・フェイスブック等の更新と拡大
会員カード・ポイントカードの取り扱い拡大促進
オリジナル商品の開発・・・上越漁業協同組合・海洋高校等との連携強化
市内における特産品・製造商品の消費拡大と販売及び PR

(3) 商品販売基本計画

i 基本方針

笑顔をもって、元気にお客様をおもてなしする
活気、活力、活動を基本とし、販売対応のリセットを行う
クレームの根絶「当社クレームゼロ」をモットーに
効率的な仕入れによるボリューム感と内容の充実
市内関連施設との連携を図り、最大限のコストパフォーマンスを目指す

ii 四半期ごとのテーマ

第1四半期(4月から6月)

トップシーズンを意識した売場の構築
状況に応じた接客サービス

第2四半期(7月から9月)

最大のパフォーマンスの発揮とリピーターサービス
1年間の営業成績を左右するトップシーズンとして充実した販売行動
アルバイトの有効活用と教育の徹底

第3四半期(10月から12月)

第2四半期の継続・維持の確保努力
接客の見直し、確認
季節感、収穫の秋を演出

第4四半期(1月から3月)

経営戦略の構築に向けた情報収集に努める
冬期間の演出の工夫と営業戦略の構築
冬期間の賑わい創出に努める

重点方針

シーズンごとの演出の工夫
地場の季節産品、地域生産品の積極販売
ジオパークグッズ販売コーナーの充実
安全・安心に裏づけられた販売活動

(4) 賃貸料収入、委託販売手数料、入場料収入、施設管理受託基本計画

i 基本方針

賃貸部門での経営改善と施設修繕等への備えを確立する
指定管理等の受託内容の精査と確認、日常管理の徹底と異常の早期発見
受託管理施設利用者のマリンドリームへの誘導
行政や商工会、地元事業者等とタイアップした入場者増加策の構築
新商品の積極的な採用、業界情報の的確な把握、出店ルールの確認
マリンホール、マリンミュージアム海洋、キャンプ場等の利用促進に努める

ii 四半期ごとのテーマ

第1四半期(4月から6月)

指定管理等の施設の管理受託契約の締結
冷暖房の切り替え等、管理者との合同総合点検
キャンプ場の利用拡大と施設の安全点検

第2四半期(7月から8月)

最大のパフォーマンスの発揮
施設利用者へのサービスの向上
管理受託施設の稼働率の向上

第3四半期(10月から12月)

冬季に向けた施設の点検整備
受託施設でのイベント等の開催

第4四半期(1月から3月)

各施設利用者への利便性の確立と要望の徴取
受託管理状況の整理

重点方針

地場産品の販売促進につながる賃貸出店の育成
保健衛生・環境美化の保持
テナントの独自性発揮とテナント間の連携強化
日常点検管理の充実

(5) 第32期 収支計画 別紙のとおり

予測貸借対照表

商号 株式会社 能生町観光物産センター

代表者 池亀 郁雄

令和2年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(89,928,000)	I 流 動 負 債	(37,854,000)
現金及び預金	70,158,000	買掛金	5,500,000
売掛金	600,000	1年以内返済長期借入金	7,524,000
たな卸資産	13,800,000	未払金	20,000,000
未収入金	5,300,000	未払法人税等	180,000
立替金	40,000	未払消費税等	3,000,000
仮払金	30,000	未払り受金	1,600,000
オープンアカウント	2,000,000	仮受金	50,000
II 固 定 資 産	(193,673,000)	II 固 定 負 債	(77,591,000)
有形固定資産	(191,189,000)	預り敷金	10,196,000
建物	455,215,000	長期建設借入金	30,483,000
構築物	32,192,000	長期未払金	32,400,000
工具、器具及び備品	14,873,000	繰延税金負債	3,800,000
リース資産	10,062,000		712,000
その他の有形固定資産	2,912,000		
減価償却累計額	△ 324,065,000		
無形固定資産	(218,000)		
電話加入権	218,000		
投資その他の資産	(1,366,000)	負債の部合計	115,445,000
出資	116,000	(純 資 産 の 部)	
保険積立金	200,000	I 株 主 資 本	(168,156,000)
敷金・保証金	1,050,000	1. 資 本	43,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	(0)
		3. 利 益 剰 余 金	(125,156,000)
		(1) 利 益 準 備 金	4,042,000
		(2) そ の 他 利 益 剰 余 金	(121,114,000)
		別 途 積 立 金	143,000,000
		建 物 圧 縮 積 立 金	2,387,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	-24,273,000
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
III 繰 延 資 産	(900,000)	III 新 株 予 約 権	(0)
開 発 費	900,000		
資産の部合計	283,601,000	純資産の部合計	168,156,000
		負債・純資産の部合計	283,601,000

第32期予定損益計算書

(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

勘定科目	32期決算見込	31期決算	前期差額
商品売上高	208,000	183,705	24,295
賃貸料収入	31,285	31,644	-359
権現荘売上	191,500	175,393	16,107
入場料・手数料等収入	8,100	8,014	86
施設管理受諾料	7,914	7,914	0
案内業務受託料	1,389	1,389	0
純売上高	448,188	408,059	40,129
期首棚卸高	15,387	13,378	2,009
商品仕入高	160,350	141,060	19,290
食材等仕入高	43,111	44,399	-1,288
不良品原価	4,900	5,729	-829
仕入値引戻し高	100	855	-755
期末棚卸高	10,519	15,387	-4,868
当期売上原価	203,329	176,866	23,295
売上総利益	244,859	231,193	16,834
荒利率	54.63%	56.66%	
販売員給与・賞与	79,000	83,072	-4,072
案内業務人件費	1,310	1,310	0
役員報酬	1,500	1,500	0
管理者給与・賞与	12,654	12,645	9
厚生費	14,850	16,288	-1,438
その他の人件費	0	340	-340
人件費計	109,314	115,155	-5,841
旅費	480	559	-79
広告宣伝費	7,100	10,055	-2,955
容器包装費	600	520	80
発送配達費	200	124	76
支払手数料	12,834	12,315	519
その他の販売費	1,000	904	96
販売促進費	4,600	10,726	-6,126
減価償却費	17,235	18,050	-815
地家賃・リース料	4,066	4,036	30
修繕費	2,740	2,522	218
事務用消耗品費	1,070	1,165	-95
通信交通費	1,900	1,871	29
水道光熱費	37,400	37,387	13
租税公課	2,848	2,830	18
寄付金	0	10	-10
接待交際費	450	434	16
保険料	1,520	1,512	8
備品消耗品費	6,100	6,781	-681
管理諸費	22,820	23,851	-1,031
イベント費	500	126	374
衛生費	3,500	3,070	430
不良品・たな卸増減	4,165	4,881	-716
雑費	2,550	2,605	-55
その他計	135,678	146,334	-10,656
販管費計	244,992	261,489	-16,497
営業利益	-133	-30,296	33,331
受取利息割引料	0		0
受取配当金	0		0
雑収入	0		0
営業外収益	2,119	2,931	0
支払利息	0		0
繰延資産償却	300		300
営業外費用	1,065	1,304	-239
経常利益	921	-28,669	33,570